

会議録

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 平成28年度第3回 (H28.6.7～H30.6.6)
開催日時	平成28年8月26日(金曜日) 午後6時30分から午後8時30分まで
開催場所	男女平等推進センター1階活動室
出席者	委員：吉田委員長、白井副委員長、田崎委員、中村委員、田村委員 欠席：伊東委員、本橋委員 事務局：渡邊係長、杉山主査
議題	1 第2回会議録の承認 2 情報誌パリティ17号について 3 男女平等推進センター企画運営事業について 4 その他(次回開催日程等)
会議資料の名称	資料 ・第2回会議録(案)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○会議内容</p> <p>《開会》</p> <p>1 第2回会議録の承認</p> <p>委員長</p> <p>第2回会議録の承認について何かあるか。</p> <p>・異議なし</p> <p>委員長</p> <p>○では第2回会議録を承認する。</p> <p>2 情報誌パリティ17号について</p> <p>事務局</p> <p>(1)の特集記事について、前回指摘のあった内容については、適宜修正・訂正をかけている。本文についてご意見を伺いたい。</p> <p>・田中先生から、何か意見等あったか。</p> <p>事務局</p> <p>先生には、念校の段階で確認いただき調整したいと思っている。今現在は先生の意見は反映していない。</p> <p>・了解した。若干中身が変わることもありうるという事か。</p> <p>事務局</p> <p>そのとおり。</p>	

なお、特集4頁の最後に市内での活動する男性サークル&講座については、公民館・協働コミュニティ課に問い合わせをして、その結果を表に取りまとめたうえで次回までにアップする。

- ・特集については、すんなりと読めて、特に修正すべき点はない。

事務局

他の委員も特に意見はないか。

委員長

無いようなので、特集については、以後何かあればメール等で事務局と連絡を取ってもらえるものとする。

○異議なし

事務局

5頁「子育て、孫育て、たまご育て」について意見を伺いたい。

- ・2段目の最後のほうで「ご近所さんなんて」と言わずに が引っ掛かる。重複した言い方ではなく、シンプルにした方が良い。
- ・イラストとテーマが人目を惹きそうで良い。

○その他特に意見無し。

事務局

6頁「女性活躍推進法」について

- ・1段目真ん中あたりの女性が子どもを産み育て、職場復帰しやすい社会環境を整えるは、少し意味が違っているのではないか。自分の意志が尊重され、個性や能力を発揮することに主眼が置かれていると思うが。
- ・2段目最後の部分「男女雇用機会均等法」が制定。これと共に、多くの女性が社会へ進出してきました。」は均等法制定後すぐに実行されてきた感を与えるが、実際は色々な問題があり、やっとここまで来たという感じのものである。表現を工夫してもらいたい。
- ・イラストが荒っぽすぎないか。意味がわからない。

事務局

皆が認定マーク（えるぼし）をめざし、ともがんばっていく道を現していこうとするもので、現時点では、下絵の段階で、これから仕上げていく。

○以上を修正検討してほしい。

事務局

7頁現在いただいたものと、ステキに男女平等参画は8/29に取材予定であるため次回念校の時に確認願う。

最後に決めて頂きたいのが、表紙の部分。今号は写真を配したもので3タイプを用意してきた。いずれが良いか、これでは不足か、伺いたい。

委員長

時間もあることなので、多数決で決したいと思う。よろしいか。

- ・異議なし

委員長

経過省略 大勢の男の姿と街中の構図のものを多数と認め、これに決する。

○異議なし

事務局

念校をメールで確認させてもらことにする。後日連絡を取りたい。

3 男女平等推進センター企画運営事業について

委員長

週間事業と基礎講座についての提案だったと思うが、委員からの提案は出ているか。

事務局

週間事業3件と基礎1件、その他が1件の提出がある。週間事業が「西東京市の女子会」、「面前DVの実態と子供への影響」と「デートDVをなくす七つのレッスン（若い人と支援をする人のために）」である。

委員長

提案者に提案趣旨を説明願う。

提1 「西東京市の女子会」集まってお話をしてみませんかとサブタイトルを付した。市内の20～50代の女性にお集まりいただき、女性（特に仕事と子育てに奮闘している年代）からぎっくばらんな生の声を聞くことで日常生活の悩みや市政に対する課題を拾い上げる。また、日頃なかなか外出できずにいる女性が外に出たり、市民同士がつながってコミュニケーションを図る機会とする。

・講師の選定はあるのか。

提1 特に無い。

・良い企画で今までに、取り組んだことのない企画だと思う。
・集まって話す内容はどのようなことか。

提1 生活のこと、仕事のこと、子育てのこと、介護のことを話してもらいたいと考える。

・話を盛り上げるためには、ファシリテーターとして適当な人材を探す必要がある。
・まとめる力のある人を呼ぶのは、少し無理があるかもしれない。

委員長

次の提案の説明を。

提2 「面前DVの実態と子供への影響」虐待相談件数が伸び続ける中で、特に増加している心理的虐待は7倍と急増している現状と対策を聞き、地域全体の課題として考えて行きたい。講演と地域（支援団体や地域住民）が出来ることのワークなど取り混ぜて開催する。

・大阪府茨木市で面前DVに関わる学識経験者と有るが、具体的にはどなたか。

提2 モリタユミという方が挙げられると思う。

・予算は講師謝礼としていくら計上できるのか。交通費は出せるものか。

事務局

週間事業の講演会としては、税込・交通費込で5万円までである。

・大阪からの招聘は現実的ではないように思う。
・東京近辺の方で、該当する人はいないか。
・足立区辺りで活動しているさやさやさんというグループがあるが、その代表で松本和子さんが候補にあげられる。

委員長

続いての提案は事務局からの提案である。

提3 「デートDVをなくす七つのレッスン（若い人と支援をする人のために）」デートDVについては、西東京市配偶者暴力対策基本計画に基づく施策として、暴力の未然防止と早期発見を市民に働きかけるために啓発活動を行うものである。

カードを作成し配布しているが、デートDVに関連した事業が実施できておらず、

暴力をなくす運動期間中に講演会を開催し、デートDV防止を普及していきたい。
ただし、提案が出なかった場合を考えてのものであるため、今後の実施でも差し支えはない。

委員長

では、週間事業として何かを採択したいが、挙手を持って決する。

経過省略 「面前DVの実態と子供への影響」を多数と認めるが、週間事業の講演会としてよろしいか。

○異議なし

委員長

基礎講座の「てしごとカフェ」については、旧委員会で提案されたものであるが一応説明をされた後、新規委員会で承認を願うものである。

提 子育て中で自分の時間が取れにくいストレスのたまりやすい年代をメインターゲットに、保育付きでなごみながら手仕事をする場を提供する。手作業で何かを製作するというプロセスには、無心で集中することで得られる爽快感と作品の完成という達成感の両方が伴う。また、周囲の人々と緩やかに交流することで活力や自信を得られる。子育ての情報交換の場としても期待できる。

・特に意見し

委員長

承認でよろしいか。

○異議なし

委員長

次にその他の講座について説明を。

提 「ペアレントトレーニングを学んでみませんか？」日常の子どもへの対応を変えることで、家庭での子育てのイライラは、伝え方のパターンを学ぶことで解決につながる。育児を楽しんで出来るようにすることで、子育ての不安、負担感を軽減することが目的。昨年度のNP（コモンセンスペアレンティング）の連続講座で受講者の団体が立ち上がったように、連続講座を受講することで、パリテの活動を知り、仲間づくりにつなげる。連続講座として3回はやりたい。

事務局

計画的には基礎講座を1件実施したいところであるが、また、予算面でも可能かどうか、検討する必要がある。

- ・子育てについて、男女平等の施策に必要なことは、多く語る必要はないが、父親に働きかけることのできるプログラムでもあり、その意味でも講座の開催意義は大きい。
- ・講座の趣旨についてよく理解できる。可能であれば実施の方向に賛同する。

委員長

実施するでよろしいか。

○異議なし

4 その他（次回開催日程等）

委員長

事務局の方で、開催日の候補はあるか

事務局

情報誌の編集の日程に合わせ、次回の開催を10月7日（金）としたいが。

委員長

自身都合が悪いので、9月27日ではどうか。

・了解。

○次回の開催を9月27日（火）午後6時30分とする。

委員長

では、本日は散会とする。

○ ありがとうございます。

《閉会》